

2016年11月15日

米澤製油株式会社代表取締役社長 森田 政男様

たねと食とひと@フォーラム 共同代表 吉森弘子
共同代表 高橋広一

101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-21
ちよだプラットフォームスクウェア 1342
TEL: 03-6869-7206 FAX: 03-6869-7204

Email: info@nongmseed.jp

<http://nongmseed.jp/>

「食用油の原材料について」

貴社が製造販売する食用油の原材料、および現在の取り組みと今後の方向性について、公開質問状を送付させていただきます。

現在、日本では菜種、トウモロコシ、大豆など、食用油の原材料の多くを、アメリカ、カナダ、オーストラリアを中心とした海外からの輸入に頼っています。遺伝子組み換え作物が世界市場で拡大する現在、その影響を受けて、私たちが日常的に口にする食品にも、少なからず遺伝子組み換え原材料が使用されています。遺伝子組み換えの問題については、様々な意見がありますが、消費者がひろく情報を得て、選択できる仕組みが社会に浸透することが望まれます。

これまで当団体では、ビールメーカー、粉ミルクメーカーに遺伝子組み換え原材料に関する公開質問を行ってきました。今回、貴社で製造されている製品の原材料についても同様に、遺伝子組み換えに関する状況と取り組みを把握したく、別紙に質問を設けておりますので、ご回答いただければ幸いです。

つきましては、恐れいりますが、別紙質問について11月30日(水)までに当団体宛にご回答をお送りください。なお、ご回答の有無およびご回答いただいた内容については、当団体のホームページ等に掲載させていただきます。ご了承ください。

米澤製油株式会社御中

公開質問状
「食用油の原材料について」

質問① 貴社はホームページにて原材料とその原産国を公表され、原材料については非遺伝子組み換えであると明らかにされていますが、いつから非遺伝子組み換えの原材料を使用していますか。

質問② 産地から貴社製造工場までの、原材料の管理・輸送方法をお答えください。

質問③ 非遺伝子組み換えの原材料を使用している製品に関して、今後、遺伝子組み換えの原材料に変更する予定はありますか。予定の有無とともに、時期とその理由をお答えください。

質問④ 非遺伝子組み換えの原材料の入手が年々困難になっているという実感の有無、また遺伝子組み換えの原材料と比べたときの価格の違いがどの程度か、といった点について、差し支えない範囲でお教えてください。